

備前市 事務事業評価表

事務事業名	振興計画策定事業	コード	06-01-10-02
		担当課・係	企画課 企画振興係
		担当者	田原義大
事業実施期間	平成17年9月1日から平成19年3月31日	電話	086-644-1871
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営	
	小項目(施策)	その他事務管理	

事業について	
目的 (何のために)	新市まちづくり計画に基づき、市政運営の指針となる新備前市の10ヵ年（平成19年度から平成28年度）の振興計画を策定し、今後のまちづくりの指針とする。
対象 (誰・何を対象に)	備前市民および備前市の行政サービスの提供を受ける者
内容	前年度作業に引き続き役員会を開催し、素案の総合化、体系化を行い、計画原案を作成、審議会を経て議会提案議決後、印刷製本（総合計画700部、ダイジェスト17,000部）を行った。ダイジェスト版は広報折込により各戸配布を行なうことができた

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
委員会開催回数(延べ)	15回	4回	
審議会開催(延べ)	回	5回	
アンケート回収率	59%		
振興計画印刷		700部	
ダイジェスト版印刷		17,000部	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 1,481 人件費 6,795	間接補助金等 受益者負担	直接事業費 2,000 人件費 2,730
	合計 8,276	市債 一般財源等	合計 4,730
			合計 0

必要人員	0.65人	0.27人
結果指標名	委員会開催回数	振興計画印刷部数
結果指標量	15	700(17,000)
単位	回	部
対前年比		
活動にかかるコスト	8,276,000円	4,100,000円
単位当たりコスト	551,733円	4,597円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	振興計画の策定により計画的な市政運営を図る（効率的な行政運営と健全な財政運営が推進される）
成果指標名	振興計画の策定
式又は説明	
17年度	18年度
成果指標量	
対前年比	
到達目標値	振興計画の策定
到達目標年度	H18年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	策定委員会役員会（4回）振興計画審議会（5回）を開催。議会議決を経て振興計画を策定することができた。策定については、市職員の意見や市民の意見を反映させた手作りのものとする事ができた。策定に携わった職員の意識啓発も合わせて図ることができたと思われる。策定に関わる経費についてもアンケート調査（H18実施済）のみをコンサルの委託業務とし、それ以外の作業は直営とすることにより最小限に抑えることができたと考えられる。	評価区分 <A~E> A
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果